



ご挨拶

本日は「A-Winds 22 秋の演奏会」にお越し下さり誠にありがとうございます。「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で、皆様方こうしてお逢いすることができましたことに、A-Winds一同心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めとする、四季折々に開催する我々A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、おかげさまで7年の間に22回目の演奏会を迎えることができました。これも我々A-Windsの活動そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援あつてのことと感謝しますとともに、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ、作曲家の方々を、実際に練習にお招きして、ご自身の作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙に取り組み活動してまいりました。

今回は、数ある吹奏楽曲の中より古典的な曲を取り上げ、我々の奏でる現代の演奏にて披露させていただきます。50人の奏でる音楽が、いつまでも皆様の心の中で、鳴り響き続ける音楽でありますよう、これからも精一杯心のこもった音楽活動を続けたいという思いを込め、団員を代表しまして、一句詠ませていただきます。

蘇る 想いでの音 懐かし

今後とも、暖かい御指導、御支援の程、宜しく願い申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日はお忙しい中、ご来場いただき誠にありがとうございます。

私たち、「A-Winds奈良アマチュアウインドオーケストラ」は、吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げ演奏活動することを活動方針として、邦人作品を含めいろいろな国の作曲家の作品を演奏してまいりました。

今回はその中からアメリカ作曲家に注目し、第1部では今では演奏される機会が少なくなりましたが、実行委員長の私が学生であった頃は頻りに取り上げられていた吹奏楽オリジナルの“クラシック”曲を、第2部はウインドアンサンブルの醍醐味を充分楽しんでいただける、また我々吹奏楽団のプログラムには欠かせない作曲家ジェイガー氏、リード氏の作品を取り上げお聴きいただきます。

一昨年は指揮者のF.フェネル氏、昨年はA.リード氏と、私たちにたいへん馴染み深いまた日本の吹奏楽の発展に大きな影響を及ぼした二人のアメリカ人音楽家が相次いで亡くなられたことはおぼんとして残念でなりません。

今回の演奏会ではそんな二人が活躍されていたころの懐かしいメロディーをお届けしようと、選りすぐりの5曲を取り上げましたので、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

最後に本公演開催にあたり関係各方面からご支援賜りました事を厚くお礼申し上げます。

“A-Winds 22”2006年 秋の演奏会 実行委員長 島田博一



ご案内

“A-Winds 23”2007年 春の演奏会

2007年3月11日(日) 14:00開演

A-Windsも演奏会を重ねる事20余回、足かけ7年の活動になります。そこで次回の演奏会では、団員の再演希望の高い曲を取り上げる事にしました。

設立当初からのメンバーには懐かしい、そして、最近入団したメンバーには新鮮な曲目が出そろいました。聴に来られる皆さまに楽しんで頂ける演奏会になるよう、団員一同努めさせて頂きますので、次回の演奏会もぜひ、ご来場下さい！
よろしく申し上げます。

“A-Winds 23”2007年 春の演奏会 実行委員長 小林計昭



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里

Flute 佐藤 司
魚谷 陽子
春日 二郎

Oboe 松本 紘子
篠篠 文子☆

E♭ Clarinet 長尾 恭子

B♭ Clarinet 畑澤 淳子♪
辻 美保♪
竹村 明恵♪
森本 幸恵♪
栗原 茂美
大江 奈々
和田 麻佑
小澤 朋子

Alto Clarinet 大西 晴己

Bass Clarinet 小山 優美

Bassoon 萱原 美華子
満江 孝文♪

Alto Saxophone 島田 博一♪
田中 香菜絵

Tenor Saxophone 初岡 和樹

Baritone Saxophone 鹿野 麗子♪

Horn 小川 貴子
久野 耕三
次田 哲平
小林 計昭♪
池原 裕子

Trumpet 大西 伸幸
表 恭子
吉川 茂宏
魚谷 昌克
篠木 章江
山本 洋介♪
亀田 小百合

Trombone 萱原 淳嘉
岡田 卓也
小泉 文浩
田中 真二

Euphonium 大西 善郎
忠澤 直美◇

Tuba 平野 幸子
吉田 新司◇
室安 望美

Percussion 平井 晶
荒井 智子
板垣 麻子
辻 歩
久保 寛美
川本 理恵
豊川 史香
寺西 剛 ☆

Piano 八木 真木

Conductor 魚谷 昌克

☆エキストラ

◇休団

♪2006年秋の演奏会実行委員



A-Winds メンバー募集

●募集パート

- ・オーボエ（イングリッシュ・ホルン）／1名
- ・B♭クラリネット／1名
- ・コントラ・バス／2名

まずは、お問い合わせ下さい！

- A-Windsの活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方

問い合わせは先<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



A-Winds SINCE 1999 NARA AMATEUR WIND ORCHESTRA



2006年 秋の演奏会

2006年11月5日(日) 14:00開演

やまと郡山城ホール大ホール

主催●A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

後援●大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟





プログラム

◇第1部————指揮者:魚谷昌克

A Festival Prelude 音楽祭のプレリュード

作曲者:Alfred Reed

出版社:Piedmont Music Company

Introduction and Caprice

序奏とカプリス

作曲者:Charles Carter

出版社:C. L. Barnhouse Co.

Symphonic Suite

交響組曲

作曲者:Clifton Williams

出版社:Summy-Birchard Music

◇第2部————指揮者:吉崎直之(客演)

Variations On A Theme Of Robert Schumann (Happy Farmer)

シューマンの主題による変奏曲

作曲者:Robert Jager

出版社:Belwin-Mills Publishing Corp.

Second Suite For Band (Latino-Mexicana)

吹奏楽のための第二組曲

作曲者:Alfred Reed

出版社:Piedmont Music Company



曲目解説

■音楽祭のプレリュード：A. リード

この曲は、オクラホマ州エニッドで毎年5月に開催されるトライ・ステート・ミュージック・フェスティバルの25周年を記念して委嘱され、1957年に作曲されました。初演はこの年の5月のフェスティバルの時にフィリップス大学コンサートバンドをリード自身が指揮して行われました。出版は1962年で、1970年(昭和45年)全日本吹奏楽コンクールの課題曲に選ばれてから日本でも一躍有名になり、A. リードの名を不動のものとした。

曲は、音楽祭の開幕を告げる金管楽器のファンファーレが高らかに鳴り響いて始まり、変化に富む数々の旋律が受け継がれながらフィナーレのファンファーレに突入して終わります。吹奏楽の持つ全てのエッセンスを凝縮したようなこの曲の醍醐味は、演奏する者と聴く者とを引きつけて離しません。

■序奏とカプリス：C. カーター

チャールズ・カーターは1926年オクラホマ州に生まれ、1950年オハイオ州立大学卒業後にイーストマン音楽学校で作曲を学び、1953年からフロリダ州立大学で作曲を教えていました。すでに40年以上まえから数多くの吹奏楽曲を発表しており、やさしく、しかも効果的でかつ美しくメロディを持っているため広く親しまれています。そのためアメリカでも日本でも中学校のバンドのコンクール自由曲として絶好のレパートリーとなってよく演奏されていました。

この「序奏とカプリス」はABA(早い・遅い・早い)の三部形式)の形式で作曲され、1973年秋に出版されました。

■交響組曲：C. ウィリアムズ

クリフトン・ウィリアムズは1923年、アーカンソー州トラスウッドに生まれ、高校生の頃からオーケストラとバンドでホルンを吹き、ルイジアナ州ボニー・テック大学に入学。戦争のため陸軍航空隊に入隊。戦後ルイジアナ大学とイーストマン音楽学校で作曲を学び、テキサス大学を経て、1966年マイアミ大学教授となり、フェネルと友人でしたが、1976年2月12日肺がんのために亡くなりました。

ウィリアムズは1956年ABA(アメリカン・バンドマスターズ・アソシエーション)の第一回作曲公募に”ファンファーレとアレグロ”で見事に入賞し、翌57年『シンフォニック・スイート(交響組曲)』で2年連続入賞を果たし、その名を不動のものとなりました。事実この2曲は20世紀後半のバンドのモダンなサウンドを余す所なく示した名曲で、特に後者はテーマの統一性、サウンドのユニークさにおいて当時としては画期的な作品でした。

この曲は次の5つの楽章からできています。

第一楽章 イントラダ(序章)

第二楽章 コラール(聖歌)

第三楽章 マーチ(行進曲)

第四楽章 アンティーク・ダンス(古代舞曲)

第五楽章 ジュビリー(祭り)

第一楽章は目のさめるようなトランペットのファンファーレで開始され、このB♭、E♭、D♭、E♭、Fの動きがこの曲の統一主題となっています。すぐにトロンボーンやホルン、サクソフォーンが応答し、この応答を5回繰り返してクライマックスに達し、ホルンの響きの中に静まり、第二楽章のコラールに続きます。金管の低音がやわらかい響きでコラールをうたい、ホルンや木管に引き継がれてゆきます。

第三楽章のマーチは統一主題の変形で元氣よく始められ、途中でコラール風なメロディも現われますが、どんどん興奮を高め、トランペットと木管高音の張り詰めた音で終わります。

第四楽章の古代舞曲は、打楽器のこまかい動きを伴う3拍子の曲でフルートとオーボエ、最後にはホルンもからみあって静かに終わります。

第五楽章の”祭り”は第三楽章のマーチによく似ていますが、途中で3拍子のコラールも現れ、2拍子にもどって興奮を高め、ファンファーレも再現され熱狂的に終わります。吹奏楽の持つあらゆる組み合わせの響きを十分に表現出来る曲です。

■シューマンの主題による変奏曲：R. ジェイガー

R・シューマン(1810-1856)は、ピアノ独奏曲「子供の情景」でも知られるドイツの作曲家です。「楽しき農夫」は彼のピアノ曲集「子供のためのアルバム」の中の一曲で、メロディーは必ずどこかで耳にしたことがあるはず。その「楽しき農夫」の主題を基にした6つの変奏曲となっています。

アルトサクソスによるテーマから始まり、第1変奏では、フルートやオーボエなど独奏楽器により各変奏が次々に現われ、続く第2変奏はフルートが変奏を受け持ちます。第3変奏はリズムの自由に動く変奏になっており、第4変奏は旋律と複雑な音程の変奏、第5変奏で狂詩曲風な旋律をゆがめた変奏、第6変奏が主題のリズミクな変奏となっています。

ビッツバーグのノース・ヒルズ高校バンドの委嘱により作曲されたこの曲は、ジェイガー自身のお気に入りの作品の一つであったとされています。

■吹奏楽のための第二組曲：A. リード

この曲はイリノイ州スターリング高校ウインドアンサンブルの指揮者、ジャック・シュラーの委嘱によって、その妻アンナ・シュラーの追悼のために書かれた曲で、1979年3月29日作曲者の指揮により同ウインドアンサンブルによって初演された曲です。曲は4つの楽章からできていて、いずれもラテン・アメリカの音楽の様式を用いています。

第1楽章：ソーン モントゥーノ

キューバやカリブ海の島々の音楽であるカリブソに似た2拍子の軽快なリズムを基本としています

第2楽章：タンゴ

この楽章はタンゴといってもアルゼンチン風なシャッキリした感じではなく、ブラジル風に高度に洗練されたリズムのタンゴで、むしろもの憂い感じの曲になっています

第3楽章：グワラチャ

グワラチャはアルゼンチンの酒盛りの歌で、2拍子の生き生きとしたにぎやかな曲です

第4楽章：パソ ドブレ

スペインの闘牛場のマーチです。しかしここではマーチではなく、舞曲風にかかれています。5拍子の短調の旋律が中心となっていますが、終わりの方では3拍子となりクライマックスで長調に転調して華やかに終わります。



プロフィール：吉崎直之(客演)

奈良市立二名中学校、京都市立堀川高等学校音楽科(現京都市立音楽高等学校)、京都市立芸術大学音楽学部卒業。トランペットを八木茂夫、北村源三、藏野雅彦、有馬純昭の各氏に、指揮法を伊吹新一に師事。大学在学中から、フリーランス奏者として活動。京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、東京俊成ウインドオーケストラ、宝塚歌劇場管弦楽団、広島交響楽団、京都フィル・ハーモニー室内合奏団等にエキストラ出演。京都JEUGIAトランペット講師、大阪ブラス・コンソートのコンサート・マスター、BREEZE BRASS BANDでの活動をを経て、現在、ブラス・フェイヴァリッツ、ウインドカンパニー、JAPANアカデミー・トランペット・アンサンブルのメンバー。古楽器奏者として、大阪コレネット・サクバット・アンサンブルのツインク奏者も務める。田代音楽教室、天理楽器の各トランペット講師。ヤマハ株式会社契約インストラクター。全日本学校音楽研究会講師。奈良県立高円高等学校音楽科トランペット主科講師。京都市教育委員会吹奏楽特別非常勤講師。平成18年度文化庁学校派遣講師。賢明学院小学校、吐山ブラスバンド、橿原市立鴨公小学校、生駒台ジュニアブラスバンド、王寺ジュニアバンド・ハルモ、橿原市立八木中学校、葛城市立白鳳中学校、山添村立山添中学校、奈良県立高円高等学校、平城高等学校、二階堂高等学校、畝傍高等学校、京都市立紫野高等学校、白頭学院建国中・高等学校の各バンドを指導。